



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社 キング

上場取引所 東

コード番号 8118

URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門管掌

(氏名) 石井 修二

TEL 03-5434-7282

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,559	△1.9	883	13.0	1,142	16.0	686	16.7
25年3月期第3四半期	9,745	0.0	781	19.9	985	16.8	588	27.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 788百万円 (34.1%) 25年3月期第3四半期 587百万円 (49.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	35.37	—
25年3月期第3四半期	28.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	21,759	18,813	86.5
25年3月期	22,103	18,316	82.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,813百万円 25年3月期 18,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	1.2	1,035	△2.2	1,330	△0.3	765	△2.8	39.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	24,771,561 株	25年3月期	24,771,561 株
26年3月期3Q	5,385,078 株	25年3月期	5,340,158 株
26年3月期3Q	19,399,965 株	25年3月期3Q	20,756,058 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による積極的な経済・金融政策の推進により円安・株高が進行し、景況感には改善の動きが見られましたが、欧州債務問題の長期化や新興国の景気停滞による世界経済の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ファッション業界におきましても、依然として厳しい雇用情勢や所得環境の改善遅れから消費者の購買意欲は本格的な回復までには至らず、厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループは、ファッションビジネスに不可欠な「科学」と「感性」のバランスを時代に合わせて見つめ直し、「強いものづくり」こそが全てにおいて優先するという揺るがない基軸のもと、独自性・複雑性を徹底追求し、高品質・高品位の商品作りに引き続き注力すると共に、生産性の向上や経費の節減に努めてまいりました。

その結果、売上高は95億59百万円（前年同期比1.9%減少）、経常利益は11億42百万円（前年同期比16.0%増加）となり、四半期純利益は6億86百万円（前年同期比16.7%増加）となりました。

事業セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(アパレル事業)

当該事業の根幹となる高品質・高感度の「強い商品力」追求に向け、ブランドコンセプトの明確化、クリエイション力の強化、シーズン時系列店頭展開の確立に注力すると共に、原価意識の徹底によるコスト管理の強化、検品体制の一層の強化による品質品位の向上に取り組みました。

営業面につきましては、フランチャイズショップ戦略の更なる強化に向けて、既存店につき各ショップ毎の課題ポイントを細かく洗い出し、より具体的な対応策として積極的な店舗改装の推進、店頭運営力の更なる向上に向けて「営業フローチャート」「店頭活性化マニュアル」「店頭タブレット」の有効活用、社員教育強化による店頭演出力の向上、アクセサリーの役割強化等に注力いたしました。

その結果、売上高は85億74百万円（前年同期比2.0%減少）、営業利益は8億85百万円（前年同期比12.5%増加）となりました。

(テキスタイル事業)

プリント生地に特化した企画提案型テキスタイルコンバーターとして、意匠力・提案力・対応力を強化すると共に、当社が所有する「ヴィンテージコレクション」（1800年から1980年までのヨーロッパ生地見本）を有効活用することにより独自性をアピールし、引き続き高感度・高品質商品の提案を推進いたしました。

その結果、売上高は9億85百万円（前年同期比1.0%減少）、営業利益は53百万円（前年同期比51.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は217億59百万円となり、前連結会計年度末比3億43百万円の減少となりました。

流動資産は103億79百万円となり、前連結会計年度末比3億73百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。また、固定資産は113億80百万円となり、前連結会計年度末比29百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の減少と投資その他の資産の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は29億45百万円となり、前連結会計年度末比8億40百万円の減少となりました。

流動負債は21億75百万円となり、前連結会計年度末比8億65百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等の減少及び賞与引当金の減少等によるものであります。また、固定負債は7億70百万円となり、前連結会計年度末比25百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の借り換えによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は188億13百万円となり、前連結会計年度末比4億96百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、86.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績は概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成25年5月9日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,639	6,346
受取手形及び売掛金	1,715	1,300
商品	2,010	2,289
原材料及び貯蔵品	45	59
繰延税金資産	192	67
その他	202	354
貸倒引当金	△54	△38
流動資産合計	10,752	10,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,124	2,020
土地	3,558	3,558
その他(純額)	327	287
有形固定資産合計	6,010	5,867
無形固定資産	61	47
投資その他の資産		
投資有価証券	1,079	1,289
長期貸付金	14	11
繰延税金資産	74	9
投資不動産(純額)	2,474	2,454
差入保証金	782	760
その他	879	964
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	5,279	5,465
固定資産合計	11,350	11,380
資産合計	22,103	21,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,169	1,134
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	50	—
未払法人税等	372	66
賞与引当金	319	94
役員賞与引当金	26	22
その他	723	478
流動負債合計	3,041	2,175
固定負債		
長期借入金	—	50
退職給付引当金	256	228
資産除去債務	102	102
長期未払金	167	167
その他	218	222
固定負債合計	744	770
負債合計	3,786	2,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	9,193	9,607
自己株式	△1,523	△1,544
株主資本合計	18,142	18,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	277
その他の包括利益累計額合計	174	277
純資産合計	18,316	18,813
負債純資産合計	22,103	21,759

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,745	9,559
売上原価	4,200	4,131
売上総利益	5,544	5,428
販売費及び一般管理費	4,762	4,545
営業利益	781	883
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	25	26
受取地代家賃	281	280
貸倒引当金戻入額	12	18
その他	41	40
営業外収益合計	375	378
営業外費用		
支払利息	3	3
賃貸費用	118	113
自己株式取得費用	46	0
その他	3	2
営業外費用合計	171	119
経常利益	985	1,142
特別利益		
固定資産売却益	2	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除却損	17	17
特別損失合計	17	17
税金等調整前四半期純利益	970	1,127
法人税、住民税及び事業税	263	307
法人税等調整額	118	133
法人税等合計	381	441
少数株主損益調整前四半期純利益	588	686
四半期純利益	588	686
少数株主損益調整前四半期純利益	588	686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	102
その他の包括利益合計	△0	102
四半期包括利益	587	788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587	788
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	8,749	995	9,745	—	9,745
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	44	77	△77	—
計	8,782	1,039	9,822	△77	9,745
セグメント利益	787	35	822	△40	781

(注) 1. セグメント利益の調整額 △40百万円には、セグメント間取引消去 △0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △40百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	8,574	985	9,559	—	9,559
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	39	68	△68	—
計	8,602	1,025	9,628	△68	9,559
セグメント利益	885	53	939	△55	883

(注) 1. セグメント利益の調整額 △55百万円には、セグメント間取引消去 △0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △54百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。